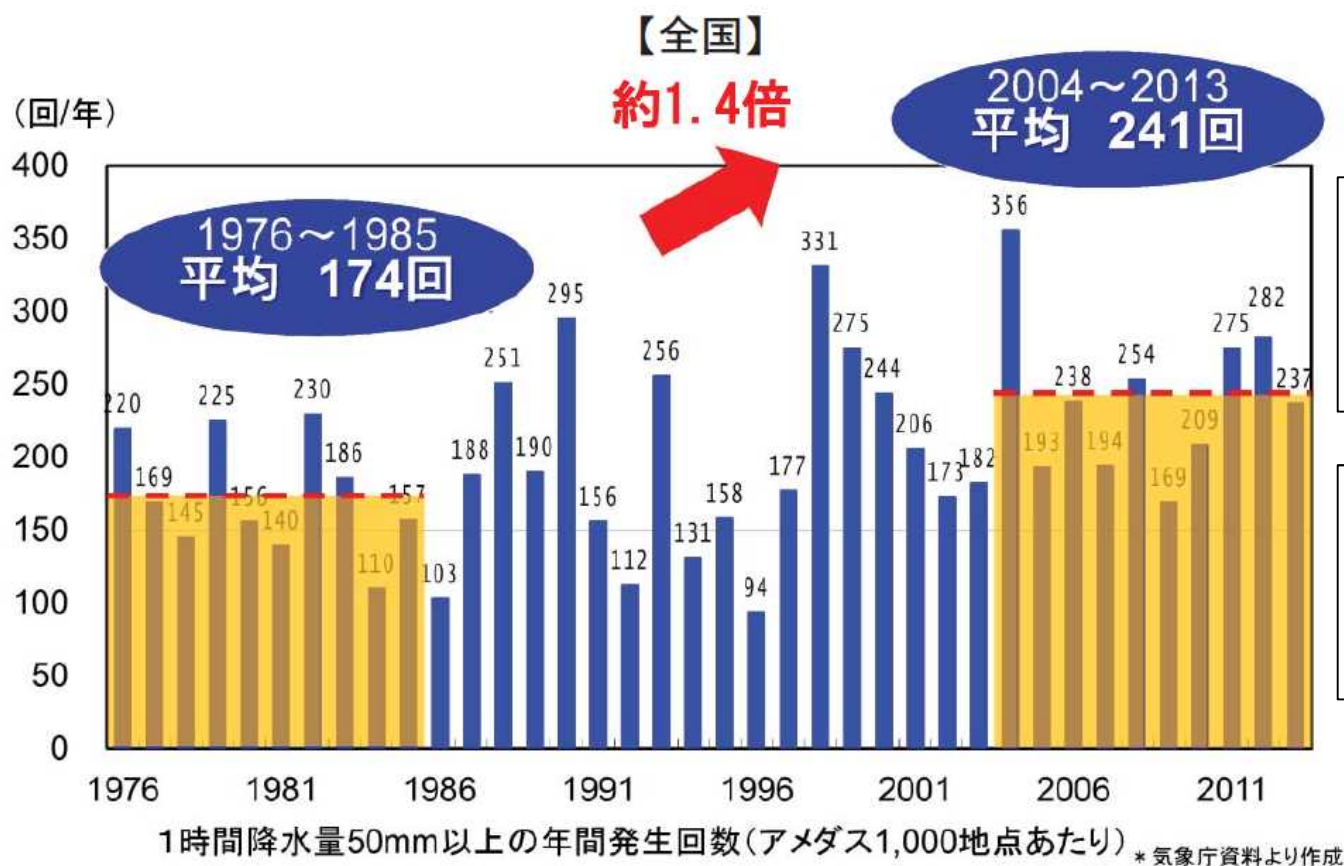


近年の大雨と タイムライン検討の必要性

釧路開発建設部
治水課長 石澤 肇

年々、水害の発生リスクは高まっている

近年、地球温暖化に伴う大型台風や集中豪雨などにより、全国各地で水害や土砂災害が頻発

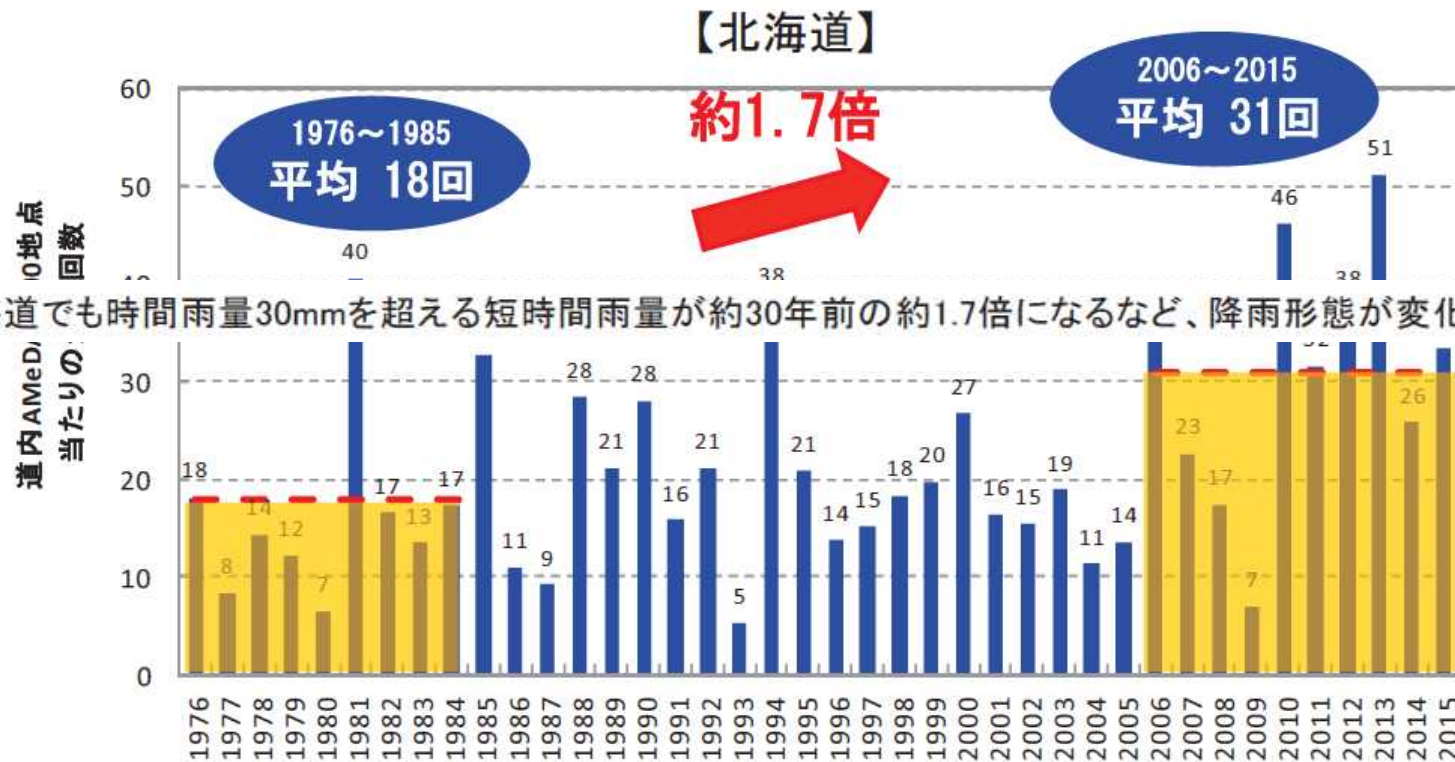


時間50mmとは？
 ・30mm以上50mm未満
 激しい雨 バケツをひっくり返したように降る

・50mm以上80mm未満
 非常に激しい雨
 滝のように降る
 (ゴーゴーと降り続く)

年々、水害の発生リスクは高まっている

北海道でも時間雨量30mmを超える短時間雨量が約30年前の約1.7倍になるなど、降雨形態が変化している。



北海道でも時間雨量30mmを超える短時間雨量が約30年前の約1.7倍になるなど、降雨形態が変化している。

道内アメダス100地点当たりの時間当たり30mm以上の降雨発生回数

※一般財団法人 日本気象協会北海道支社 資料を一部改変

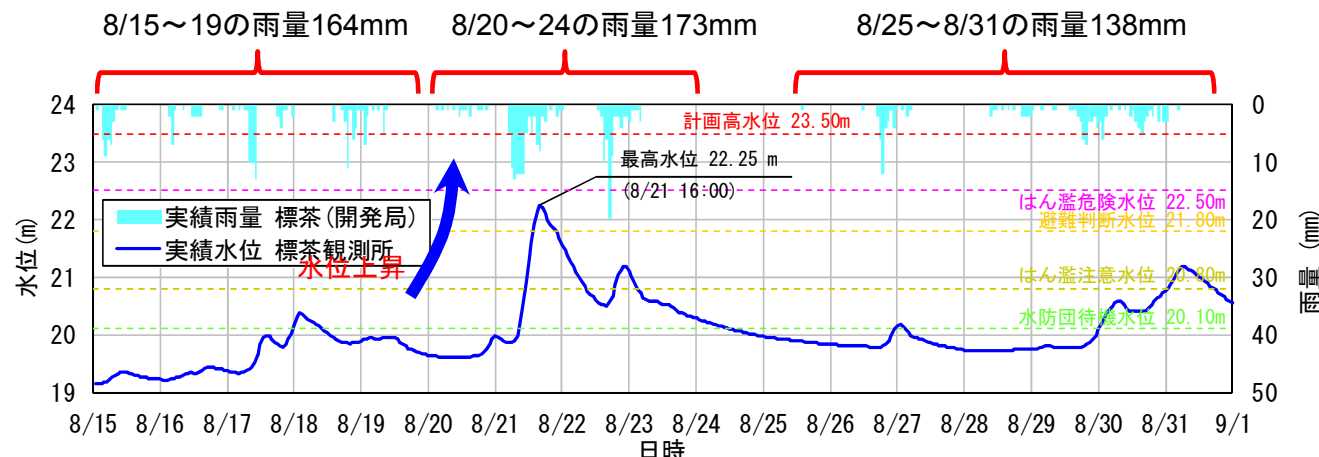
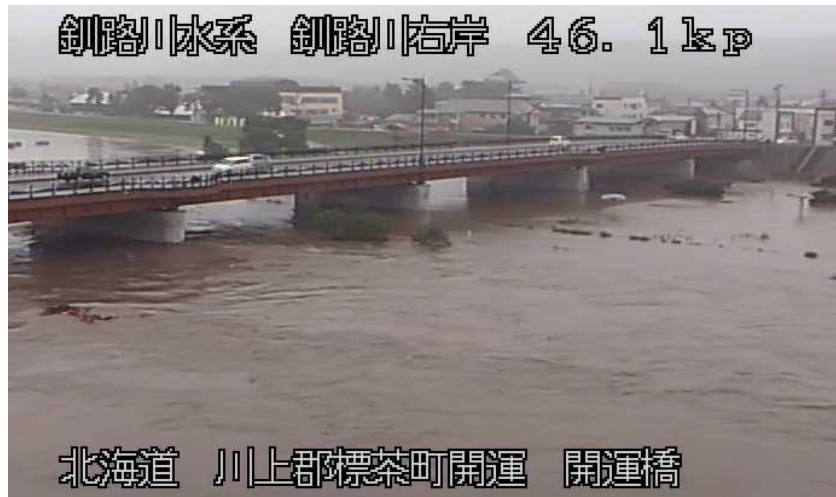
計画規模を超える洪水が、道内のどこで起こってもおかしくない状況

平成28年8月北海道豪雨災害 空知川幾寅地区での決壊氾濫状況



平成28年8月 北海道豪雨

この大雨により、釧路川で急激に水位が上昇し、標茶水位観測所では避難判断水位を超過（観測史上2番目となる水位）しました。



釧路川 標茶水位観測所地点の水位状況(平成28年8月)

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

タイムラインについて

- ・平成27年の鬼怒川堤防決壊や平成28年の空知川堤防決壊など、計画を超える大規模な洪水が発生しており、**釧路川でも浸水被害が発生することを想定しておく必要がある。**



- ・このため、**住民の円滑・確実な避難や浸水被害の軽減に向けては、河川管理者をはじめとする関係機関との連携や調整が重要となる。**



- ・釧路川外減災対策協議会の枠組みを活用し、一昨年、多くの住民が避難行動をされた標茶地区をケースとし、**先を見越した早期の災害対応を実現する「釧路川標茶地区水害タイムライン検討会」を設立する。**

水害対応タイムライン

避難勧告着目型タイムライン

市町村長による避難勧告等の発令に着目して、河川管理者と市町村等が協力して作成・運用する

- 国管理河川
 - ・国が管理する河川区間に関係する全ての市町村を対象とする。
 - ・624市町村／730市町村策定済（H29.2末現在）
 - ・継続して、改善、向上を推進
- 都道府県管理河川
 - ・国管理河川の取組を参考に進める

多機関連携型タイムライン

地下街の浸水対策や高齢者の円滑な避難など、河川の特徴に応じた多様な防災行動を対象として、多くの関係機関が連携して作成・運用する

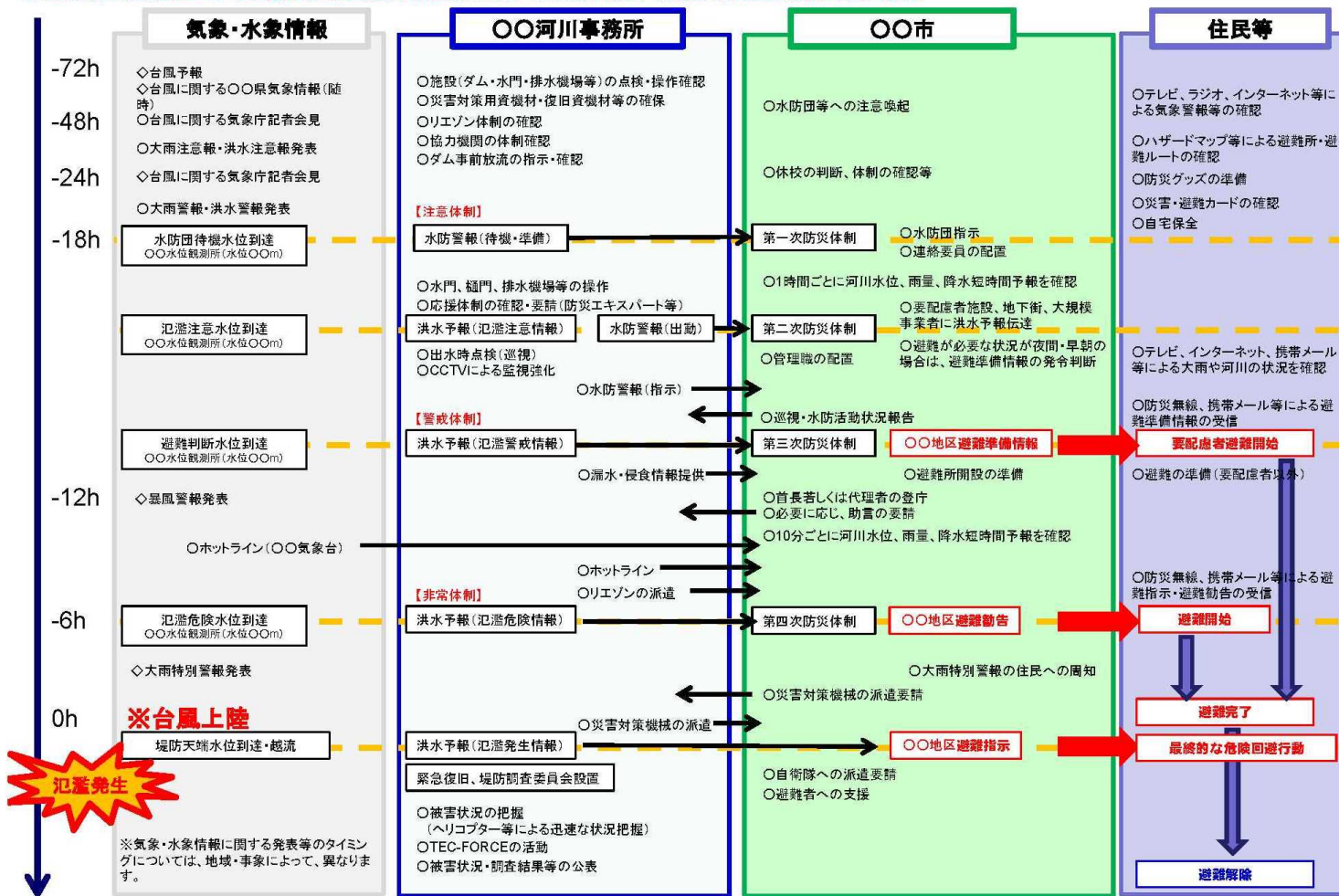
- 国管理河川
 - ・荒川下流、庄内川など、20地域で取組が進行中。
 - ・うち13地域で試行版を運用中
 - ・継続して、改善、向上を推進
- 都道府県管理河川
 - ・国管理河川の取組を参考に進める

避難勧告発令に着目した水害対応タイムライン

河川管理者、市町村等が連携し、平成29年6月現在、釧路川流域の5市町村において作成完了。

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)のイメージ(たたき台)

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)(内閣府:平成26年4月)を参考に作成。また、都道府県からの情報もあるが、割愛している。
 ※時間経過や対応項目については想定で記載しており、各地域や自治体の体制及び想定する気象経過に応じた検討が必要である。



【参加機関】

標茶町、標茶消防署、釧路方面弟子屈警察署、
標茶町土木建設業協会、陸上自衛隊第27普通科連隊、
釧路総合振興局、釧路地方気象台、釧路開発建設部、
標茶町市街地町内会のみなさま

【アドバイザー】

北見工業大学教授 高橋 清 氏
北見工業大学教授 早川 博 氏
東京大学大学院客員教授 松尾 一郎 氏

【オブザーバー】

釧路川外減災対策協議会

【事務局】

標茶町、釧路地方気象台、釧路開発建設部

多機関連携型の水害対応タイムライン

いつ

何を

誰が

見越した防災行動
上陸予想時間から逆算し先を

気象・水象状況	防災対応レベル	時間の目安 (堤防の決壊から逆算した時間)	行動項目	誰が												
				市	気象台	国	県	自衛隊	警察署	消防署	電気・ガス	交通・通信	民間企業	町内会		
台風接近による大雨の可能性が高まる	レベル1 準備	4日前～1日前	タイムラインの立ち上げ													
			情報収集・受発信													
			機関支援の実施													
			水防活動・インフラ対応の準備													
水防団待機水位の超過	レベル2 早期避難	1日前～12時間前	避難所開設準備	○												
			避難所の一部開設	○												
			要配慮者の早期避難支援	○						○					○	
			水防活動の実施			○	○				○					
避難判断水位の超過	レベル3 避難	12時間前～6時間前	交通規制の実施・拡大							○			○			
			避難所の開設	○												
			避難準備情報の発表	○	○	○										
			自主避難の実施	○							○					○
氾濫危険水位の超過	レベル4 避難完了	6時間前～0時間 (堤防の決壊)	要配慮者の避難支援	○					○	○				○		
			水防活動の実施			○	○	○		○						
			避難勧告・指示の発表	○	○	○				○	○					○
			住民の避難を実施	○					○		○					○
			現場対応者の退避	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
			市災害対策本部の移設	○												
			緊急対応の準備	○		○	○	○	○	○	○	○	○			

防災機関の横断的な連携